

「まさき交流の翼」に参加して

岡山武喜
(昌農内)

微笑みの国タイ、仏教王国、何か行く前から安らぎを感じる思いでしたが、国民の約95%が仏教徒であると言われるだけあって、宮殿寺院のさらびやかさと立派さに、まず驚きました。

11月14日(木)、チャオプラヤ川の船から宮殿、寺院を眺めつつ、寄り来る舟の女性たちが果物を売ってきます。舟の操り方が上手でした。

この川には鯰や鯉に似た大きな魚がたくさんいたが、付近が仏教寺院の為に取る者もないから魚たちの安住の場所とのことでした。

11月15日(金)、午前中にバスで「生き直しの学校」を表敬訪問、到着と共に子どもたちがそれぞれ赤と白の花飾りを皆の胸につけてくれ、歓迎してくれたのは心が通じるといふ感があり嬉しいものでした。

白石団長の挨拶は「子どもたちのきれいな眼、可愛い仕草、やさしさをを見て、世界の子どもは皆同じだと思っし、



▲カンチャナブリのクワイ川鉄橋にて

子どもものいじめ、犯罪を犯す年齢の低下など色々問題もあるが、やさしい思いやりの気持ちを日本の子どもたちも持つており、その気持をそのまま育てていきたいと思っっている。」という内容の話でした。

子どもたちがこの日のために懸命に練習された踊りを見せてもらい、松前町の標識の立つ広場に記念植樹をして行事を終え、昼食をご馳走になり、心からの歓迎に感謝しました。

映画「戦場に架ける橋」で有名なカンチャナブリのクワイ川鉄橋305メートルを向こう岸まで歩いて渡りました。歩行する外国人も多く、建設当時の有様は如何であったかと、その過酷さは想像を絶す



◀暁の寺

るものであったこととされます。戦争博物館の遺品の品々、大戦中鉄道建設に従事して亡くなられた霊を慰めるために建てられた慰霊塔を拝して、今の私たちの生活を反省しました。

11月16日(土)、タイ日本人会、日本留學生の会の方々と交流会も大変有意義でした。今回の「交流の翼」、お世話役は大変だったと思いますが、行った者、体験した者は大きな宝となつて心に残るものです。



▶終始、和やかな交流会



▶子どもたちと昼食(生き直しの学校)

11/17(日)	11/16(土)	11/15(金)	11/14(木)	11/13(水)
<ul style="list-style-type: none"> ・早朝、関西空港に到着。専用バスにて松前町へ(15時到着) 	<ul style="list-style-type: none"> ・バンパイン宮殿 ・山田長政ゆかりの日本人町跡 ・アユタヤ(ワット・ヤイ・チャイ・モンコン、ワット・プラ・スイ・サンペット、ワット・プラ・マハタート) ・夜、政府観光庁、プラティーフ財団、タイ日本人会、日本留學生の会の方々22名と交流会その後、帰国の途へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイ最大の仏塔チンコン・パトム ・カンチャナブリへ ・「生き直しの学校」訪問。記念植樹、子どもたちと昼食 ・日本人慰霊塔、クワイ川鉄橋、戦争博物館、連合軍墓地 	<ul style="list-style-type: none"> ・終日、バンコク市内観光 ・水上マーケット ・暁の寺 ・ねはん寺 ・エメラルド寺院・王宮 	<ul style="list-style-type: none"> ・関西空港からバンコクへ

行程表